

内科 血液・免疫科

病棟 東病棟 14F

外来 外来診療棟A 2F 連絡先 022-717-7730 (外来)

ホームページ <http://www.rh.med.tohoku.ac.jp/index.html>



科長
張替 秀郎 教授

主な対象疾患

- 白血病
- 難治性貧血
- シェーグレン症候群
- 血管炎症候群(大動脈炎症候群、ANCA関連血管炎など)
- 悪性リンパ腫
- 特発性血小板減少性紫斑病
- 強皮症
- 成人発症スチル病
- 多発性骨髄腫
- 血友病(その他血液凝固異常症)
- 多発性筋炎 / 皮膚筋炎
- 成人発症スチル病
- 骨髄異形成症候群
- 関節リウマチ
- 全身性エリテマトーデス
- 再生不良性貧血
- 全身性エリテマトーデス

診療内容

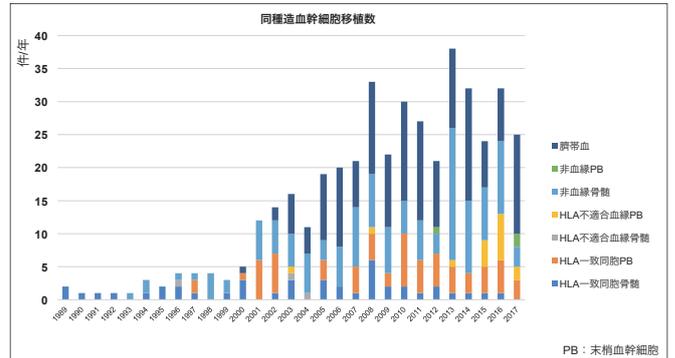
当科では、白血病などの血液疾患と関節リウマチ・全身性エリテマトーデスなどの膠原病を扱っています。病床数は現在45床で、そのうち17床が無菌室、準無菌室の特殊病室であり、宮城県内外から紹介を受け東北地区の中心的病院として先進的な診療を行っています。

血液疾患：白血球、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫といった造血器腫瘍や、再生不良性貧血等の造血不全症に対し最新の治療を行っています。特に、造血器腫瘍に対しては、分子標的薬や生物学的製剤、さらに必要に応じて造血幹細胞移植を組み入れ、疾患や患者さんの状態に合わせた最善の治療を行うように心がけています。診療においては、リハビリテーション科、感染症科、歯科、臨床心理士、栄養科の協力体制を構築し、集学的治療を実施しています。造血幹細胞移植については、日本骨髄バンク・日本さい帯血バンクの認定を受けた移植施設であるとともに、全国に9施設選定されている造血幹細胞移植推進拠点病院の一つであり、血縁者および非血縁者ドナーからの骨髄移植/末梢血幹細胞移植が実施可能な施設です。関節リウマチ・膠原病：関節リウマチ・膠原病(全身性エリテマトーデス、強皮症、皮膚筋炎、多発性筋炎、混合性結合組織病、シェーグレン症候群、ベーチェット病、大動脈炎症候群などの血管炎症候群など)の診療を行っており、免疫抑制剤や生物学的製剤、血漿交換療法等の治療法を組み合わせた最新の治療を行っています。急性期の症例を積極的に受け入れており、主な疾患の昨年度の症例数は東北地区のトップクラスです。

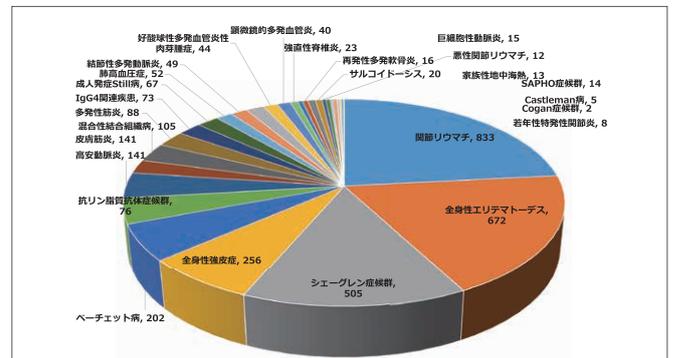
診療体制

日本血液学会専門医11名、日本リウマチ学会専門医4名、日本造血細胞移植学会認定医3名、日本輸血細胞治療専門医3名が、専門診療にあたっています。当科の新患日は水曜日、金曜日で、新患は完全予約制です。当院地域医療連携センターを通して予約をお願いします。患者さんの容態、検査結果から急を要するときは地域医療センターにその旨お伝えください。担当医が直接状況を伺い、適宜受診日を調整いたします。再来は月曜日から金曜日まで毎日行っています。担当医等の詳細につきましては、病院ホームページ<http://www.hosp.tohoku.ac.jp>をご覧ください。

血液領域、リウマチ・膠原病、いずれにおいてもすべての疾患に対し、治療を行っています。特に、大学病院としての専門性を生かし、先進的医療の実施に積極的に取り組んでいます。具体的には、造血器腫瘍、造血不全、関節リウマチ・膠原病に対する新しい薬の治験を多数行っています。また、多施設共同の臨床試験にも積極的に取り組んでいます。白血病に関しては日本成人白血病研究グループ(JALSG)、悪性リンパ腫、骨髄腫に関しては日本臨床腫瘍研究グループ(JCOG)、自己免疫疾患においても厚労省の研究班に参加し、多数の臨床試験を実施しています。この他に、宮城県における悪性リンパ腫の調査研究や血液疾患・自己免疫疾患の原因を明らかにするための基礎的研究も行っています。



東北大学病院血液免疫科 同種造血幹細胞移植数



2017年度受診患者数(リウマチ膠原病疾患)

ご紹介いただく際の留意事項

■当科新患は完全予約制です。当院地域医療連携センターを通して予約をお願いします。患者さんの容態、検査結果から急を要するときは当科外来へ連絡をお願いします。